

中日から育成1位で指名され、八学大のチームメイトと記念写真に納まる松山晋也(手前中央) 11月20日、八学大



## 松山(八学大)中日育成1位 反骨心から急成長

八学大の松山晋也がプロし、今秋のリーグ戦でようの注目を集めたのは、大学や努力の成果が形となった最後の今秋。北東北大学リーグでは主に抑えとして活躍がなかったら、プロカ板。計26回で39三振、4失点と好投し、スカウト陣に「と話す。

「活躍するのが遅かった。それでもストライクゾーンで勝負して、三振が取れるようになった。」

「練習量が全然足りなかった。3年春までは公式戦登板しなかった男に反骨心が生まれ、野球に懸ける思いが変わった。」

「投げた。八学野西高の滝沢颯士込みの球数を倍以上に増やした。筋力トレーニングも毎日欠かさなかった。」

出場を目指して練習していい制球力、平均球速が向上

く」と力を込めた。

まつやま・しんや 七戸町出身。2000年6月生まれ。町立旧天間部中一八学野西高。最速154km/hの直球とスプリット、カットボールなどの変化球が持ち味の本格派右腕。北東北大学リーグでは主に抑えとして活躍。身長188cm、体重92kg。右投げ右打ち。